コース1

武蔵境駅～武蔵野市役所コース

移動距離　約3.6km
移動時間（徒歩）　約60分（滞在時間は含まれておりません）

スタート　武蔵境駅北口
- ❶ 本村第二公園
- ❷ ぎんなん橋
- ❸ 境浄水場
- ❹ グリーンパーク遊歩道
- ❺ 関前三丁目交差点付近
- ❻ グリーンパーク遊歩道
- ❼「武蔵野市平和の日」制定記念樹
- ❽ 都立武蔵野中央公園
- ❾ 都立公園拡張予定地・中島飛行機変電室跡
- ❿ 都営武蔵野アパート
- ⓫ NTT武蔵野研究開発センタ
- ⓬ 武蔵野市陸上競技場

ゴール　武蔵野市役所前

❶本村（ほんむら）第二公園と都道・調布−保谷線（引き込み線軌道跡）

1943（昭和18）年頃、境浄水場の濾過用の砂を運搬する引き込み線（中央線・武蔵境駅-境浄水場間）を中島飛行機武蔵製作所への引き込み線とするため浄水場の東側に線路を通した跡。戦後、引き込み線が廃止され、整備された跡地が本村第二公園（本村公園は浄水場への引き込み線跡）である。都道・調布-保谷線の開通により、引き込み線跡がたどれるようになった。

玉川上水にかかっていた鉄橋

❷ぎんなん橋

都道・調布−保谷線開通のため、境浄水場東側の玉川上水に新たな橋が架けられた。引き込み線軌道跡には「ぎんなん橋」が架けられた。この橋の下には、引き込み線だったときの、橋梁を受ける台である「橋台（きょうだい）」の一部が残っている。

空襲被災地

❸境浄水場

中島飛行機武蔵製作所の南に位置していた境浄水場は、アメリカ軍により標的確認の目印とされていたことが、1944（昭和19）年12月3日に墜落したB29に搭乗していたアメリカ兵の所持していた資料により判明した。日本側も、水面が光って目印に利用されやすいと考え、建物疎開で生じた戸板などを水面に浮かべて偽装（カモフラージュ）をはかってはいたが、効果はなかったという。1945（昭和20）年4月2日未明の空襲で濾過池の一部が破損した。

関前高射砲陣地跡

❹グリーンパーク遊歩道

中島飛行機武蔵製作所への爆撃が始まった頃、関前に急ピッチで高射砲が設置された。都道・保谷-調布線のうち、関前3丁目交差点の南、大型ドラッグストアーの南側一帯である。高射第1師団・第116連隊・第1大隊・第4中隊といい、88式7センチ高射砲6門が設置された。しかし、高度3万フィート（1万m）前後を航行するB29に高射砲はほとんど届かなかった。

空襲被災地

❺関前三丁目交差点付近

戦争による犠牲者が多かった場所。1944（昭和19）年12月3日の第2回空襲により、関前三丁目交差点から武蔵野大学までの間で、二家族10名が防空壕内で亡くなった。1945（昭和20）年4月12日の空襲では、関前三丁目交差点から南側一帯に1トン爆弾が十数個落ち、高射砲陣地の兵士ら30名近くが亡くなった。中島飛行機工場への最後の空襲である8月8日には、五日市街道をまたいで遊歩道を南へ入ったあたりに1トン爆弾が落ち、一家5名が防空壕内で亡くなった。

引き込み線軌道跡

❻グリーンパーク遊歩道

戦争末期の1943（昭和18）年頃　中島飛行機武蔵製作所には、中央線武蔵境駅から引き込み線が敷設された。現在の「UR住宅・緑町パークタウン」の場所に1951（昭和26）年に野球場が開設されると、引き込み線は三鷹駅からに切り替えられた。野球場が閉鎖されると引き込み線も廃止され、玉川上水より北の武蔵野市域の軌道跡が「グリーンパーク遊歩道」となっている。